

安全データシート

改訂日：2025 年 10 月 22 日

作成日：2013 年 8 月 6 日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	： スクロールドレン I 型
供給者の会社名称、住所及び電話番号	： 静岡瀝青工業株式会社 静岡県焼津市高新田 810 番地 TEL:054-622-1255
供給者のファクシミリ番号又は電子メールアドレス	： FAX：054-622-6457
緊急連絡電話番号	： TEL：054-622-1255／受付時間：月～金曜日 8:00-17:00
推奨用途	： 道路舗装埋設用排水チューブ
整理番号	： D-G21-304001

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	： 区分 2B
呼吸器感作性	： 区分 1
皮膚感作性	： 区分 1
生殖細胞変異原性	： 区分 2
発がん性	： 区分 2
生殖毒性	： 区分 1B
特定標的臓器毒性、単回ばく露	： 区分 1（呼吸器、腎臓の障害） ： 区分 2（全身毒性） ： 区分 3（気道刺激性）
特定標的臓器毒性、反復ばく露	： 区分 1 ： 区分 2

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険、警告

危険有害性情報

目への刺激性

呼吸するとアレルギー、ぜん息又は呼吸困難を起こすおそれ。

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

遺伝性疾患のおそれの疑い

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

呼吸器、腎臓の障害

臓器の障害のおそれ

気道への刺激のおそれ

呼吸器系への刺激のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器、神経系への障害

長期にわたる、又は反復ばく露による肝臓、肺の障害のおそれ

注意書き

- 【安全対策】
- ・ 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 - ・ 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 - ・ 取り扱い後はよく手を洗うこと。
 - ・ この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 - ・ 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
 - ・ 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 - ・ 環境への放出を避けること。
 - ・ 保護手袋を着用すること。
 - ・ 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。
- 【応急措置】
- ・ 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
 - ・ 吸入した場合：空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 - ・ 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 - ・ ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。
 - ・ 気分の悪いとき：医師の診断／手当てを受けること。
 - ・ 呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
 - ・ 汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- 【保管】
- ・ 水濡れ、酸、アルカリもしくはそれらを含んだ物質との接触を避けること。
 - ・ 高温多湿の環境を避ける。必要であれば、雨水浸透防止、錆防止のためのシート、カバー、梱包等を行うこと。
- 【廃棄】
- ・ 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に則って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物（鉄を主成分とした合金鋼）
 化学名又は一般名 ステンレス鋼線 SUS304

成分	含有量(%)	CAS 番号	官報公示整理番号	
			化管法	安衛法
ケイ素 [Si]	1.0 以下	7440-21-3	-	-
マンガン [Mn]	2.0 以下	7439-96-5	1 種 465	550
ニッケル [Ni]	8.0-10.5	7440-02-0	1 種 354	418
クロム [Cr]	18.0-20.0	7440-47-3	1 種 111	142
銅 [Cu]	0.5 以下	7440-50-8	-	379
コバルト [Co]	1.0 以下	7440-48-4	1 種 156	172
鉄 [Fe]	残量	7439-89-6	-	-

注) 成分の含有量は、上記の範囲において、規格の種類で異なる。

注) 上記の主要成分の他に、炭素[C]、リン[P]、硫黄[S]、窒素[N]等の微量元素を含む。

4. 応急措置

鋼材の加工などにより発した粉じん/ヒュームを吸入した場合や飲み込んだ場合、また、粉じん/ヒュームが皮膚に付着した場合は、下記の示す応急処置の後、必要に応じて医師の診断又は手当てを受けること。

- 吸入した場合 ・ 新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
- 皮膚に付着した場合 ・ 速やかに多量の水と石鹼で洗う。

- | | |
|---------|---|
| 眼に入った場合 | ・ 水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。 |
| 飲み込んだ場合 | ・ 水でよく口の中を洗浄する。 |
| その他 | ・ 鋼材切断端面及び切削屑等で皮膚を傷つけた場合は、傷口の清潔を保つ。アーク等により火傷した場合は、患部を冷やす。 |

5. 火災時の措置

鋼材は不燃性（固体）の状態であり、周辺の火災時にも消火器・水による消火を行っても問題ない。
ただし、微粉は燃焼、爆発性を有する場合がある。

- | | |
|-------------|----------------------|
| 適切な消火剤 | ・ 火災の状況に適した消火剤を使用する。 |
| 使ってはならない消火剤 | ・ 情報なし。 |

6. 漏出時の措置

鋼材は固体であり、一般的な環境下では漏出することはないが、鋼材の加工等により発生した粉じん/ヒュームは下記に示す処置を実施すること。

- | | |
|-----------------|---|
| 人体に対する注意事項 | ・ 適切な保護具を使用して、粉じん/ヒュームの吸入や目への侵入を防ぐこと。 |
| 保護具及び緊急時措置 | ・ 箇条 8（ばく露防止及び保護処置）の保護具を参照のこと。 |
| 環境に対する注意事項 | ・ 切削・研磨等の加工で発生した粉じん等は、速やかに回収する。 |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材 | ・ 鋼材の加工等により発生した粉じん等は、適切な方法で回収した後、漏出を防止すること。 |

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

- ・ 鋼材を溶接、切断又は研磨等の加工を行い、粉じん/ヒューム等が発生する場合は、適切な保護具を着用すること。
- ・ 粉じん/ヒューム等が発生する場合は、必要な局所排気/全体換気を行うこと。

安全取扱い注意事項

- ・ 重量物の為、転倒、荷崩れ、落下には注意する。
- ・ 鋼材の切断端面及び切削屑等は、「バリ」「カエリ」などにより皮膚を傷つける場合がある。
- ・ 溶接、溶断などにともなうアークは火傷を起こす場合がある。
- ・ 結束および梱包フープ（バンド）の切断時に、フープの跳ね返りやフープの先端に注意を要する。特にコイル製品の場合、コイル先端が跳ね上がる可能性があるため安全には十分な留意を要する。

保管

安全な保管条件

- ・ 水濡れ、酸、アルカリもしくはそれらを含んだ物質との接触を避けること。
- ・ 高温多湿の環境を避ける。必要であれば、雨水浸透防止、錆防止のためのシート、カバー、梱包等を行うこと。

8. ばく露防止及び保護措置

鋼材は通常の状態では固体であるため、一般的な環境下では、ばく露防止及び保護処置に関する有用な情報はない。ただし、溶接・溶断又は研磨、切削等の加工の際は粉じんやヒューム等が発生するので、下記に示す設備対策及び保護処置を実施すること。

許容濃度

成分	CAS 番号	日本産業衛生学会	AGCIH※1
		許容濃度 [mg / m ³]	TLVs-TWA [mg / m ³]
マンガン [Mn]	7439-96-5	0.2	0.2
ニッケル [Ni]	7440-02-0	1	1.5
クロム [Cr]	7440-47-3	0.5	0.5
銅 [Cu]	7440-50-8	—	1※2 / 0.2※3
コバルト [Co]	4770-48-4	0.05	

注 1) NITE HP / 化学物質総合情報提供システム (CHIRP) 検索結果

注 2) 表中の “—” は、区分外又は分類できないことを意味する。

※1 : American Conference of Governmental Industrial Hygienists(米国産業衛生専門家会議)

※2 : Dust and mists, as Cu

※3 : Fume

設備対策

- ・ 粉じん/ヒューム等が発生する場合、適切な換気対策を実施し、作業環境を確保すること。

保護具

- ・ 粉じん/ヒューム等が発生する場合、適切な呼吸用保護具、保護手袋、保護眼鏡、保護衣、安全靴等を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	固体
色	白銀色
臭い	金属臭
融点／凝固点	1370℃以上
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	水に不溶
n-オクタノール／水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	7-9g/cm ³ (15℃)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

- | | |
|------------|--|
| 反応性 | ・ データなし |
| 化学的安定性 | ・ 一般の環境下では、安定している。 |
| 危険有害反応可能性 | ・ 水や酸などの化学物質と接触すると、酸欠、有害なガス発生の原因となる可能性がある。 |
| 避けるべき条件 | ・ 高湿、混触危険物質との接触を避ける。 |
| 混触危険物質 | ・ 酸化性物質など。 |
| 危険有害な分解生成物 | ・ 溶接・溶断などの加工時にヒューム中に金属化合物が含まれる可能性がある。 |

11. 有害性情報

有害性項目	[Mn]	[Ni]	[Cr]	[Cu]	[Al]	[Co]
急性毒性	－	－	－	－	－	－
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分 3	－	－	－	－	－
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性	区分 2B	－	区分 2B	－	－	－
呼吸器感作性又は皮膚感作性	－	区分 1	区分 1	－	－	区分 1
生殖細胞変異原性	－	－	区分 2	－	－	－
発がん性	－	区分 2	－	－	－	区分 2
生殖毒性	区分 1B	－	－	－	－	区分 2
特定標準臓器毒性、単回ばく露	区分 1	区分 1	区分 2,3	区分 3	－	区分 3
特定標準臓器毒性、反復ばく露	区分 1	区分 1	－	区分 1	区分 1	区分 1
吸引性呼吸器有害性	－	－	－	－	－	－

注 1) NITE HP / 化学物質総合情報提供システム (CHRIP) 検索結果

注 2) 表中の “－” は、区分外又は分類できないことを意味する。

注 3) 区分の情報は、過剰 2 (危険有害性の要約) を参照のこと。

12. 環境影響情報

有害性項目	[Mn]	[Ni]	[Cr]	[Cu]	[Al]	[Co]
水生環境有害性(急性)	－	－	－	－	－	－
水生環境有害性(慢性)	区分 4	－	区分 4	区分 4	区分 4	区分 4

注 1) NITE HP / 化学物質総合情報提供システム (CHRIP) 検索結果

注 2) 表中の “－” は、区分外又は分類できないことを意味する。

注 3) 区分の情報は、過剰 2 (危険有害性の要約) を参照のこと。

13. 廃棄上の注意

- | | |
|----------|---|
| 残余廃棄物 | ・ 産業廃棄物に関する法律、都道府県又は市町村が定める関連条例の規則に従い、環境に配慮した適切な方法で処分すること。 |
| 汚染容器及び包装 | ・ 容器及び放送に汚染物質が付着している場合、残余廃棄物と同様に、産業廃棄物に関する法律、都道府県又は市町村が定める関連条例の規則に従い、環境に配慮した適切な方法で処分すること。 |

14. 輸送上の注意

輸送に関する国際規制対象物質に該当しない。

15. 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

労働安全衛生法	・ 第 57 条の 2 第 1 項（通知対象物）
PRTR 法	・ 第一種指定化学物質

16. その他の情報

【引用文献】

- a) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針
(2019年6月 一般社団法人 日本化学工業協会)
- b) GHS対応・化管法・安衛法におけるラベル表示・SDS提供制度
(2018年12月 経済産業省、厚生労働省)
- c) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE) ホームページ
- d) 混合物分類判定システム (経済産業省)
- e) 職場の安全サイト (厚生労働省)

安全データシート (SDS) は危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として取扱事業者提供されるものです。取扱事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。

従って、本データシートそのものは安全の保証書ではありません。また本データシートは JIS Z 7252:2019 及び JIS Z 7253:2019 に沿って得られた情報を基に作成したものであり、その内容やデータについて弊社製品そのものを反映しているわけではなく、すべてを保証するものでもありません。各種法令改正や製品情報の改定により今後も内容が変更されますので、販売、流通事業者は取扱事業者に対し、常に最新の安全データシートを提供するようにお願いします。